



Simply Better Connections

UC8000

ポッドキャスト用 AIオーディオミキサー MicLIVE™ ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルはATEN International Co., Ltdが作成している英語版ユーザーマニュアルを、日本国内のお客様が製品をご使用になる上での便宜を図るため、ATENジャパン株式会社にて機械翻訳ベースで作成したドキュメントです。用語・表現等は公開前に人為的な修正を加えておりますが、若干の表記ゆれなどが残っている可能性がありますので、ご理解願います。

製品の取扱説明書としての整合性は英語版ユーザーマニュアルに準ずるものですが、万が一内容に不備・誤り等がございましたら、誠にお手数ですが、ATENジャパン株式会社までお問い合わせさせていただきますよう、お願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

この装置は、FCC規則のPart15に従って、Class Bデジタルサービスの制限に準拠していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、居住地域における設置において、有害な干渉から適度に保護するために設計されています。この装置に変更や改造を加えると、この装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。本装置は高周波エネルギーを発生、使用、また放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。この機器が無線およびテレビの受信に有害な干渉の原因になったかどうかは、機器をOFFにしてONにすることによって判定できますが、こういったことを引き起こす場合は、以下にある対策のひとつ、あるいはいくつかを行って干渉をなくすよう試してみることを推奨します。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、または位置を変えてください。
- ◆ 製品と受信アンテナの距離を離してください。
- ◆ 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続してください。
- ◆ 販売店またはラジオ/テレビ技術者に問い合わせてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意: 本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。



カナダ産業省による宣言

Class Bの本デジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-003 (B) / NMB-003 (B)

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。



D33866
RoHS

製品名:ポッドキャスト用AIオーディオミキサー MicLIVE™、型番:UC8000						
単位	使用制限物質およびその化学記号					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁺⁶)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
ケーブル	—	○	○	○	○	○
PCBA	—	○	○	○	○	○
プラスチック・ その他部品	○	○	○	○	○	○
金属部品	—	○	○	○	○	○

注意:

1. 「0.1wt%超過」および「0.01wt%超過」は、制限物質の含有率が存在条件の参照パーセンテージ値を超えていることを示します。
2. 「○」は、制限物質の割合の内容が、存在参照値の割合を超えないことを示します。
3. 「—」は、制限物質が免除に対応していることを示します。

ユーザー情報

ユーザーの皆様へ

このマニュアルに記載されているすべての情報、ドキュメント、および仕様は、製造元から事前に通知されることなく変更される場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。プログラムが購入後に欠陥があると判明した場合、購入者(製造業者、販売業者、または販売業者ではありません)は、すべての必要なサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する任意の偶発的または結果的な損害の費用全体を負担します。

このシステムの製造業者は、この装置に対する許可されていない変更によって引き起こされる無線および/またはTV干渉の責任を負いません。このような干渉を訂正することは、ユーザーの責任です。

製造業者は、動作前に正しい電圧設定が選択されていない場合には、このシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいことを確認してください。

同梱品

すべてのアイテムが正常に動作していることを確認してください。問題が発生した場合は、販売店にお問い合わせください。

- ◆ ポッドキャスト用AIオーディオミキサー MicLIVE™ × 1
- ◆ USB Type-Cケーブル × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

目次

適合性に関する宣言.....	i
ユーザー情報.....	iii
ユーザーの皆様へ.....	iii
同梱品.....	iv
目次.....	v
本マニュアルについて.....	viii
第1章 はじめに.....	1
概要.....	1
ポッドキャスト用AIオーディオミキサー MicLIVE™.....	1
OnAir™ Audio.....	1
予備知識不要.....	2
特長.....	2
MicLIVE™の製品各部名称.....	3
トップパネル.....	3
リア/サイドパネル.....	4
OnAir™ AudioのGUI.....	5
第2章 操作方法(実践編).....	6
オーディオ・ミキシングのフローチャート.....	6
1. 準備するもの.....	7

2. オーディオ・デバイスの接続	8
3. ホスト・コンピューターにおけるOnAir™Audioの セットアップ	10
4. オーディオ・デバイスの調整	12
各オーディオ・トラックの個別チューニング	12
オーディオ・ミックスのチューニング	13
第3章 AI Smart EQ	16
実践編 (AI Smart EQ を使用)	17
第4章 自動ダッキング	18
実践編 (自動ダッキングの適用)	18
自動ダッキングの調整	19
第5章 ジングル (オーディオ・エフェクト)	20
実践編 (ジングルの使用)	20
ジングルのカスタマイズ方法	21
ジングルの記録	21
オーディオ・ファイルを使用したジングルの置き換え	23
ジングルの調整	24
第6章 ボイスFX	26
実践編 (ボイス FX の適用)	27
MicLIVE™経由によるボイスFXの適用	27
OnAir™Audio経由によるボイスFXの適用	29
カスタマイズしたボイスFXの定義方法	30
カスタム・ボイスFXの使用	32
第7章 オーディオの詳細設定	33

オーディオ入力の設定	33
第8章 その他の設定(アップデートを含む)	35
設定画面	35
ファームウェア/アプリケーションのアップデート	36
工場出荷時におけるデフォルト設定の復元	36
付録	37
安全にお使いいただくために	37
全般	37
仕様	39

本マニュアルについて

このマニュアルは、MicLIVE™を最大限に活用するために提供されています。このマニュアルでは、製品の取り付け・セットアップ方法、操作方法について説明します。

このマニュアルの対象製品は次のとおりです：

型番	製品名
UC8000	ポッドキャスト用AIオーディオミキサー MicLIVE™(ハードウェア)
OnAir™ Audio	OnAir™ Audioミキサー(ソフトウェア)

情報の概要を以下に示します。

第1章 はじめに:ポッドキャスト用AIオーディオミキサー MicLIVE™とその連動アプリケーション「OnAir™Audio」について、その目的、機能、および製品各部分名称を紹介します。

第2章 操作方法(実践編):オーディオ・ミキシングのフローチャートを提供し、オーディオ・ミックスの作成に関連するすべての手順を説明します。

第3章 AI Smart EQ:AI Smart EQの機能と、使用方法について説明します。

第4章 自動ダッキング:ダッキング機能と、使用方法について説明します。

第5章 ジングル(オーディオ・エフェクト):MicLIVE™が提供する8つのジングル(エフェクト)パッドについて説明します。

第6章 ボイスFX:MicLIVE™が提供するボイスFX(ボイスチェンジャー)モードと、カスタマイズしたボイスFXを定義する方法について説明します。

第7章 オーディオの詳細設定:OnAir™Audioで調整可能な各種オーディオの詳細設定について説明します。

第8章 その他の設定(アップデートを含む):ファームウェアやアプリケーションのアップデート方法など、OnAir™Audioが提供するその他の設定について説明します。また、ミキサーを向上出荷時のデフォルト設定にリセットする方法についても説明します。

付録:安全にお使いいただくための注意事項、製品仕様、およびその他の技術情報の一覧を提供します。

注意:

- ◆ 本書をよくお読みになり、設置・操作の手順に従い、本機や接続機器の破損を防止してください。
- ◆ ATENでは新規仕様を反映させたファームウェアや関連ドキュメントを定期的にWebサイトに公開しています。最新のMicLIVE™ドキュメントについては、以下をご覧ください。

<http://www.aten.com/global/en/>

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

- 押すべきキーを示します。入力するキーを示します。例えば [Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。
 - 1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
 - ◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
 - > (メニューやダイアログボックスなどで)連続したオプションを選択することを示します。矢印は操作の手順を示します。例えば「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択することを意味します。
-  重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

ポッドキャスト用AIオーディオミキサー MicLIVE™

ポッドキャスト用AIオーディオミキサー MicLIVE™は、最大6チャンネルのオーディオ・デバイス(ソース4台とヘッドフォン2台)を接続し、どこからでもポッドキャストのライブ配信やデジタル音楽イベントに瞬時に変換できる、コンパクトでバスパワーに対応した6チャンネルAIオーディオミキサーです。

AI Smart EQを搭載したMicLIVE™は、マイクを使用して、最適なボイス録音性能を得るために、お使いのボイスと録音環境に応じてイコライザーを自動的に検出し、キャリブレーションすることができます。

オーディオ入力ポート3か所、XLRコンボ2か所、3.5mm TRRSおよび双方向USB-Cポート各1か所を備えた本ミキサーは、マイクやギターなどのメイン楽器2台(XLRコンボ・ポート経由)、バックグラウンド・ミュージックなどのサブ・オーディオ・デバイス1台(3.5mm TRRS経由)と接続することができます。また、必要に応じて、ホスト・コンピューターを接続し(USB-C経由)、2つ目のサブ・オーディオ・ソースとして機能させながら、生成されたオーディオ・ミックスを記録することもできます。ミキサーにはヘッドフォンジャック(3.5mm TRS)が2か所あり、オーディオ入力とオーディオ・ミックスをリアルタイムで監視できます。

MicLIVE™は、汎用性を高めるために、+48Vマイクと互換性があり、サブ・オーディオの自動ダッキング、4種類のボイスFX(ボイスチェンジャー)モード、および自由に使用できる8つのカスタマイズ可能なジングルを提供します。

OnAir™ Audio

MicLIVE™専用の直感的なソフトウェアであるOnAir™ Audioと組み合わせることで、接続されている各オーディオ・デバイスの音量、状態、設定、およびWindowsコンピューターを使用して生成されたオーディオ・ミックスを簡単に表示および調整できます。

予備知識不要

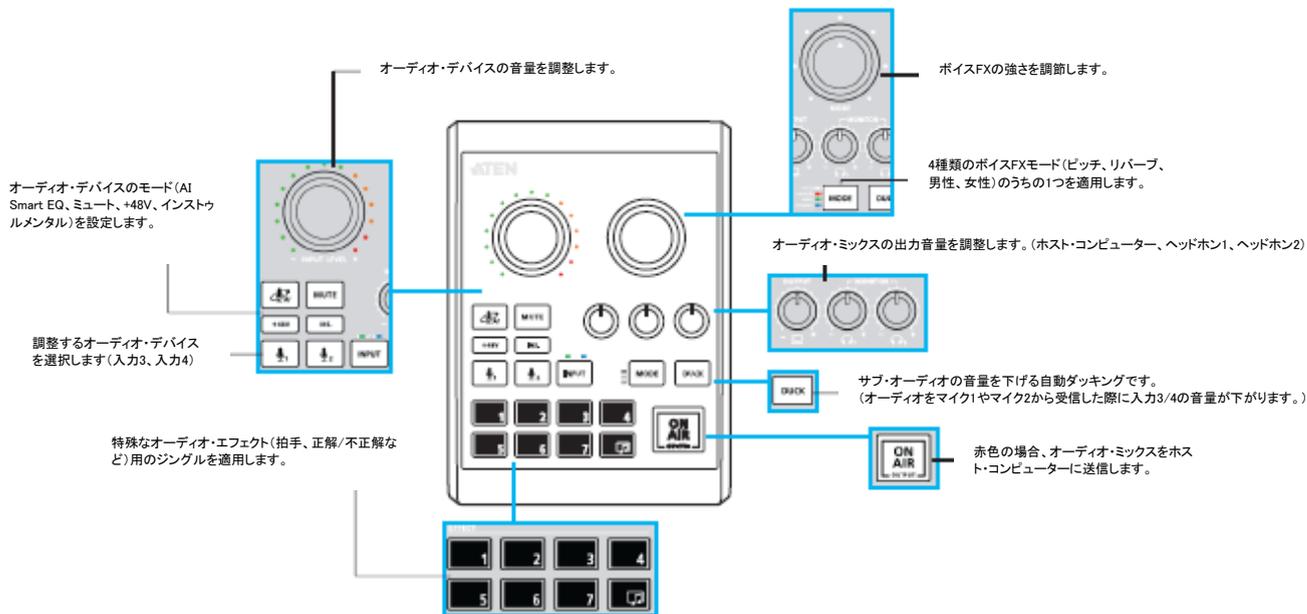
MicLIVE™とOnAir™Audioの組み合わせは、素人や玄人を問わず、ポッドキャストを瞬時に、そして手軽に始める最良の方法として推奨できるソリューションです。開始するには、OnAir™Audioがインストールされているにホスト・コンピュータにマイクを接続するだけで、準備が整います。

特長

- ◆ オーディオ・ミキシングとポッドキャスト・ワークフローを簡素化するオール・イン・ワン設計 - 最大6チャンネルのオーディオ入力、DSP、AD/DAコンバーターを提供
- ◆ PCまたはMacにおいてUSB-C経由で最大24ビット/96kHzのハイレゾオーディオを提供
- ◆ 世界初のAI方式オーディオミキサー - AIサウンドチェックでマイクの品質を高め、誰でも高品質な録音が可能
- ◆ ジングルパッドは、プロのオーディオ・ミキシング用に、コンピューター、マイク、およびその他のオーディオ入力からカスタマイズできる最大8つのサウンド・エフェクトを保存
- ◆ 自動ダッキング機能 - 放送中に話者の声が常に聞こえるように、好きなタイミングでバックグラウンド・ミュージックを下げられる機能

MicLIVE™の製品各部名称

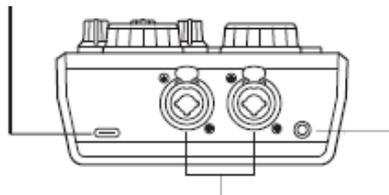
トップパネル



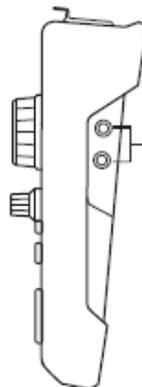
リア/サイドパネル

出力/入力4: USB-C経由でホスト・コンピューターに接続します。
(バスパワー、オーディオ・ミックスの入出力4用)

入力3: 3.5mm TRRS経由でサブオーディオ(BGM)に接続します。



入力2: 最大2系統のメインオーディオ(マイク/楽器)をXLRコンボ経由で接続します。



出力3: 3.5mm TRSを介して最大2台のヘッドホンを接続します。
(オーディオ・ミックスの監視用)

OnAir™ AudioのGUI

以下に、MicLIVE™に接続するホスト・コンピューターにインストールするOnAir™ Audioソフトウェアを簡単に説明します。

ミキサー設定とソフトウェアの詳細設定を切り替えます。
(カスタマイズしたボイスFX、ファームウェアとソフトウェアのアップデート、リセットを含む)

マイク1/マイク2/入力3/入力4を介して接続されているオーディオ入力の音量を表示します。

(ミキサーからホスト・コンピューターに対するオーディオ・ミックスの出力音量をUSB-C経由で表示します)

拍手、正解、不正解など、ジングル(オーディオ・エフェクト)の適用や設定を行います。

ソフトウェアがミキサーに接続されているかどうかを示します。

ボイスFX(ボイスチェンジャー)モードを適用します。
(ピッチ/リバーブ/男性/女性/カスタマイズ)



注意:

MicLIVE™の接続とOnAir™ Audioのインストールについては、p.8「2. オーディオ・デバイスの接続」、およびp.10「3. ホスト・コンピューターにおけるOnAir™ Audioのセットアップ」を参照してください。

第2章 操作方法(実践編)



開始する前にミキサーの設置に関する安全上の注意を確認してください(p.37における安全上の注意を参照)。

オーディオ・ミキシングのフローチャート

以下のフローチャートを参照して、MicLIVE™の開始から終了までの使用方法を確認してください。

■ 準備

1. 準備するもの

p.7「1. 準備するもの」を参照してください。

2. 接続方法

p.8「2. オーディオ・デバイスの接続」を参照してください。

3. ホスト・コンピューターにOnAir™Audioをインストールする方法

p.10「3. ホスト・コンピューターにおけるOnAir™Audioのインストール」を参照してください。

■ オーディオのテスト

4. 各オーディオトラック(入力)とオーディオ・ミックス全体をチューニングする方法

p.12「4. オーディオ・デバイスの調整」を参照してください。

■ オーディオ・ミキシング

5. AI Smart EQの説明

p.16「AI Smart EQ」を参照してください。

6. 自動ダッキングの説明

p.18「自動ダッキング」を参照してください。

■ 高度な機能

7. ジングル(オーディオ・エフェクト)の説明と使用方法

p.20「ジングル(オーディオ・エフェクト)」を参照してください。

8. ボイスFXの説明

p.26「ボイスFX」を参照してください。

1. 準備するもの

以下は、MicLIVE™を使用する前に準備する必要がある項目のリストです。

- ◆ ホスト・コンピューター×1(電源用およびOnAir™Audio用)、次の仕様を満たすこと:

OnAir™ Audioのシステム要件	
OS	Windows10(64ビット)
プロセッサ	Intel i3シリーズ2GHzマルチコアプロセッサ以上 (またはこれと同等のAMDプロセッサ)
メモリ	最小:2GB RAM推奨:8GB RAM
保管	100 MBのハードディスク空き容量
USB	USB-C対応

- ◆ 以下に例示するメインのオーディオ・デバイス1~2台

メインオーディオ機器の例	
マイク	◆ 動的またはコンプレッサー(最大+48V) ◆ XLRまたは6.35mm TRS互換
楽器	XLRまたは6.35mm TRS互換

- ◆ ヘッドホン1~2台(3.5mm TRS 互換)
- ◆ サブ・オーディオ・デバイス×1(3.5mm TRRS 互換、BGM 用)

2. オーディオ・デバイスの接続

オーディオ・デバイスを接続するには、次の手順に従って操作を行ってください。

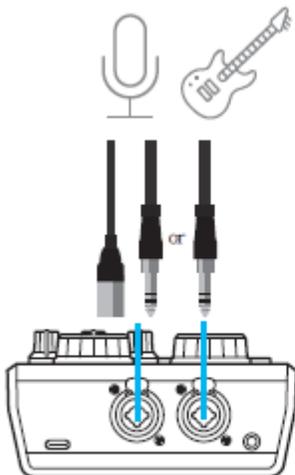
1. OnAir™ Audioをインストールしたホスト・コンピュータを、製品パッケージ付属のUSB-Cケーブルでミキサーに接続してください(詳細は、p.10「3. ホスト・コンピュータにおけるOnAir™ Audioのセットアップ」を参照)。

ホスト・コンピュータに送信されるオーディオ・ミックスの音量を調節します。



赤色の場合、オーディオ・ミックスをホスト・コンピュータに送信することを示します。

2. メイン・オーディオ・デバイス(例: マイクや楽器など)1~2台を、付属のXLRおよび/または6.35mm TRSケーブルを使用してミキサーに接続してください。



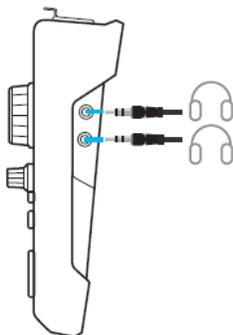
マイク1またはマイク2を介して接続されているメイン・オーディオ・デバイスのモードの設定、または音量の調整を選択します。



注意:

マイクが機能しない場合は、+48Vを適用してみてください。詳細については、p.12「4.オーディオ・デバイスの調整」における手順2~5を中心に参照してください。

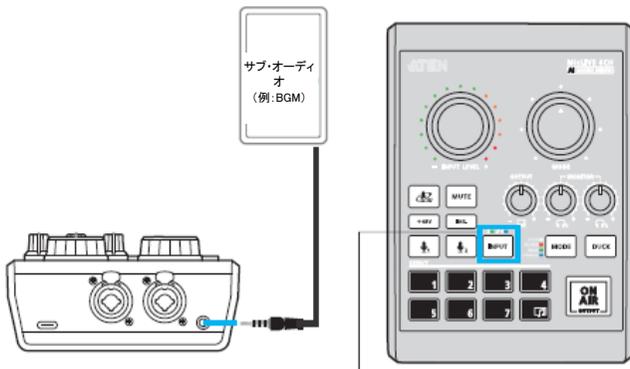
- オーディオ・ミックスを聴くには、ヘッドフォン(1~2台)を3.5mm TRSヘッドフォンポート経由でミキサーに接続してください。



ヘッドホン1またはヘッドホン2の音量を調整します。



- (オプション) 双方向オーディオを使用する場合は、3.5mm TRRSケーブルを使って、モバイルデバイスなどの1つのサブ・オーディオ・デバイスをミキサーの入力3に接続してください(例:リモートインタビューを進行しながらBGMを流すなど)。



入力3または入力4(ホストコンピューター)のサブ・オーディオのモード設定、または音量の調整を選択します。

接続が完了したら、ヘッドホンを使用して各オーディオ・デバイスのテストとチューニングを行うことができます (p.12「4. オーディオ・デバイスの調整」参照)。

3. ホスト・コンピューターにおけるOnAir™Audioのセットアップ

MicLIVE™専用のオーディオ・ミキシング・ソフトウェアOnAir™Audioをインストールするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. MicLIVE™への接続と電源供給に使用するホストコンピューターで、<https://tinyurl.com/nsp6tnfn>にアクセスしてオーディオミキサーのダウンロードページに移動してください。
2. ダウンロードページから、OnAir™Audioをダウンロードしてインストールしてください。
3. インストールが完了したら、ATEN OnAir™Audioを起動してください。次のグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) が表示されます。

ミキサー設定とソフトウェアの詳細設定を切り替えます。
(カスタマイズしたボイスFX、ファームウェアとソフトウェアのアップデート、リセットを含む)

マイク1/マイク2/入力3/入力4を介して接続されているオーディオ入力の音量を表示します。

(ミキサーからホスト・コンピューターに対する)オーディオ・ミックスの出力音量をUSB-C経由で表示します

拍手、正解、不正解など、ジングル(オーディオ・エフェクト)の適用や設定を行います。

ソフトウェアがミキサーに接続されているかどうかを示します。

ボイスFX(ボイスチェンジャー)モードを適用します。
(ピッチ/リバーブ/男性/女性/カスタマイズ)



4. オーディオ・デバイスの調整

各オーディオ・トラックの個別チューニング

メイン/サブ・オーディオをテストしてチューニングするには、次に従って操作を行ってください。

- まず、以下の2つの方法のうち1つを使用して、チューニングしているオーディオ以外のすべての受信オーディオをミュートしてください。

- ◆ MicLIVE™ミキサー上: オーディオをミュートするには、、、 (入力3の場合は1回、入力4の場合は2回)のいずれかを押してから、を押してください。

- ◆ OnAir™ Audio経由: オーディオをミュートするには、そのオーディオの下にある「ミュート」をクリックしてください。



- 次に、ヘッドホンが正しく接続され、ミキサーのツマミ(下図参照)を調整することで、適切な出力音量があることを確認してください。



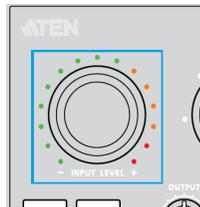
- ミキサーで 、、 (入力3の場合は1回、入力4の場合は2回) のいずれかを押してから、テストやチューニングの対象となるメイン/サブ・オーディオを選択してください。

4. 次に、設定する入力モードを選択してください：

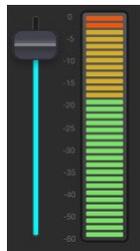
- ◆ **Ins.(インストゥルメンタル)**  : 楽器に最適なEQ設定を適用します。
- ◆ **+48V**  : マイクで必要とされる場合は、+48Vを適用します。
- ◆ **AI(AI Smart EQ)**  : AI Smart EQ (詳細はp.16参照)を使用する前にキャリブレーションを行う必要があります。このモードでは、音声と録音環境に応じてミキサーのイコライザーを自動的に調整するAI Smart EQを適用します。

5. メイン/サブ・オーディオの音量をお好みの状態に調整してください。

- ◆ **MicLIVE™経由** : 次を使用して調整してください。



- ◆ **OnAir™ Audio経由** : 音量Tバーを使用して調整してください。



オーディオ・ミックスのチューニング

1. すべてのオーディオ・トラックをチューニングしたら、以下の2つの方法のいずれかを使用して、オーディオ・ミックスの形成に使用する各オーディオ・トラックのミュートを解除してください。

- ◆ **MicLIVE™ミキサー上** : オーディオのミュートを解除するには、

、、 (入力3の場合は1回、入力4の場合は2回) の

いずれかを押してから、 を押してください。

- ◆ **OnAir™ Audio経由** : オーディオのミュートを解除するには、ミュートされているオーディオの下にある「ミュート」をクリックしてミュートを無

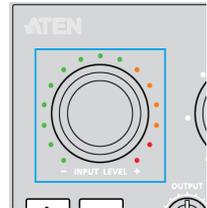
効にしてください。



2. 使用するすべてのオーディオ・トラックのミュートが解除されたら、必要に応じて各トラックの音量を調整してください。

- ◆ **MicLIVE™上**:オーディオの音量を調整する

には、、、 (入力3の場合は1回、入力4の場合は2回)のいずれかを押すことで選択してください。そうしたら、右の図が示すつまみを使用して調整を行ってください。



- ◆ OnAir™ Audio経由:オーディオの音量を調整するには、その下にある音量Tバーを使用してください。



注意:

OnAir™Audioに搭載されているホスト・コンピューターは、ソフトウェアが動作できるように、ミキサーと接続している必要があります。

第3章

AI Smart EQ

AI Smart EQはMicLIVE™のシグネチャー機能で、音声録音性能を最適化するために、お使いの音声オーディオと録音環境に応じてミキサーのイコライザー設定を自動的に調整します。



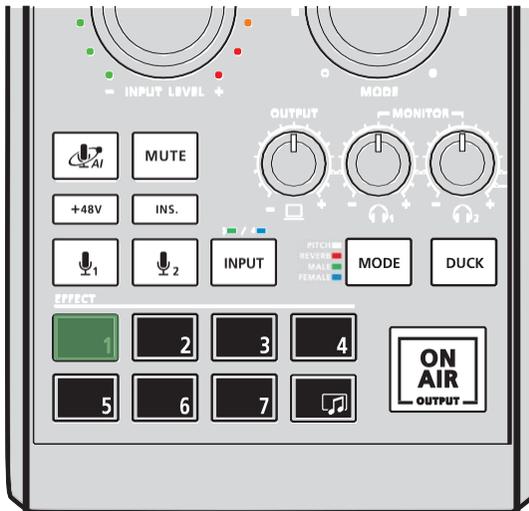
注意:

AI Smart EQは、ボイス録音にのみ使用することを推奨します。

実践編(AI Smart EQを使用)

AI Smart EQを使用する前に、音声録音シナリオと同じまたは類似の環境でキャリブレーションする必要があります。

1. ミキサーで 、または  を押して、AI Smart EQをキャリブレーションして適用するオーディオ入力を選択してください。
2. キャリブレーションを開始するには、以下のいずれかの操作を行ってください。
 - ◆ AI Smart EQを初めて使用する場合は、AI(AI Smart EQ)  を1回押すことでキャリブレーションを開始できます。
 - ◆ AI Smart EQを使用するのが2回目以降である場合は、ミキサーの「エフェクト」ボタンが点滅し始めるまでAI(AI Smart EQ)  を長押し(約3秒)することでキャリブレーションを再度実行することができます。
3. ミキサーのエフェクトボタンが順番に点滅し始めたら、以下に示すように、ボタンが点滅しなくなるまで、マイクを通してボイスレコーディングシナリオを模倣しながら話し始めてください。これには、約10~15秒ほど要します。



AI Smart EQが調整されると、現在選択されているオーディオ・トラックに自動的に適用されます。

第4章 自動ダッキング

MicLIVE™の自動ダッキング機能を適用すると、ミキサーのメインオーディオ（マイク1および/または2）からサウンドが検出されるたびに、ミキサーのサブオーディオ（入力3と入力4）の音量を自動的に下げることができます。

この機能は、音楽ポッドキャストで使用すると、ホストが話すときに入力3や4で再生される音楽の音量を手動で下げる必要がないため、特に便利です。

実践編（自動ダッキングの適用）

1. 自動ダッキングを適用するには、AIオーディオミキサーMicLIVE™で

DUCK を押してください。



2. 適用したら、ミキサーの入力3や4で音楽を再生しながら、接続されたマイクを通して話してみてください。入力3と4の音量は、発言時に自動的に下げられます。

自動ダッキングの調整

デフォルトでは、自動ダッキングは入力3と4の両方に適用されます。自動ダッキングを入力3または入力4にのみ適用し、それ以外には適用しない場合は、以下の操作を行ってください。

1. LEDが点灯するように **DUCK** を押して、自動ダッキングが適用されていることを確認してください。
2. **INPUT** を1回(グリーン)または2回(ブルー)押して、入力3または4を選択してください。
3. 入力3または4を選択すると、**DUCK** ボタンのLEDが点滅または点灯します。

ダッキング状態	説明
 点滅します	選択した入力(入力3または4)の自動ダッキングが有効になります。
 点灯も点滅もしません。	選択した入力(入力3または4)の自動ダッキングは無効です。

4. **DUCK** を3秒間長押しすると、このボタンの状態を変更することができます(例: 入力3または4の自動ダッキングを有効/無効にする)。

注意:

入力3と4の両方で同時に自動ダッキングを無効にすることはできません。入力3または4を無効にすると、もう一方も自動的に有効になります。

入力3のみの自動ダッキング(入力4は無効)

自動ダッキングが入力3にのみ適用されている場合、ミキサーの他のオーディオ入力(マイク1&2と入力4)からのサウンドが検出されるたびに、入力3の音量が自動的に下がります。

入力4のみの自動ダッキング(入力3は無効)

自動ダッキングが入力4にのみ適用されている場合、ミキサーの他のオーディオ入力(マイク1&2と入力3)からのサウンドが検出されるたびに、入力4の音量が自動的に下がります。

第5章

ジングル(オーディオ・エフェクト)

ポッドキャストの番組やデジタル音楽イベントに独自のアレンジが加えられるよう、MicLIVE™には、好きなサウンド・エフェクトを再生するための8つのカスタマイズ可能なジングル(オーディオ・エフェクト)パッドが用意されています。例えば、ジョークの直後に観客の笑い声のサウンドを流したり、ゲストを紹介した後に拍手のサウンドを追加したりすることができます。



MicLIVE™の
ジングル(オーディオ・エフェクト)パッド



ATEN OnAir™ Audioにおける
ジングル(オーディオ・エフェクト)ボタン

実践編(ジングルの使用)

- ◆ MicLIVE™の場合:ミキサーの8つのジングルパッドのいずれか1つを押すだけです。
- ◆ OnAir™ Audio経由:ジングルを再生するには、接続したホスト・コンピューター上のATEN OnAir™ Audioソフトウェアの8つのジングル・アイコンのいずれか1つをクリックしてください。

ジングルのカスタマイズ方法

ジングルをカスタマイズするには、次の2つの方法があります：

- ◆ AIオーディオミキサーMicLIVE™に接続されたオーディオ・デバイスを使用して、ジングルを記録します（以下の「ジングルの記録」を参照）。
- ◆ 接続されたホスト・コンピューターでOnAir™ Audioを使用してジングルをアップロードします（p.23「オーディオ・ファイルを使用したジングルの置き換え」を参照）。

ジングルの記録

接続したオーディオ・デバイスを介して録音されたサウンドを使用して、既存のジングルを置き換えることができます。シングルは最大長は20秒です。

1. ジングルを記録するには、交換するジングルパッドが点滅し始めるまで長押し（約3秒間）してください。そうすると、記録の準備ができたことを示します。



注意：

録音モードをキャンセルしたい場合は、点滅しているジングルパッドをもう一度長押しして（約3秒間）、録音モードを終了してください。

2. 記録を開始するには、点滅しているジングルパッドを押し、最後にもう一度押すと記録を停止します。

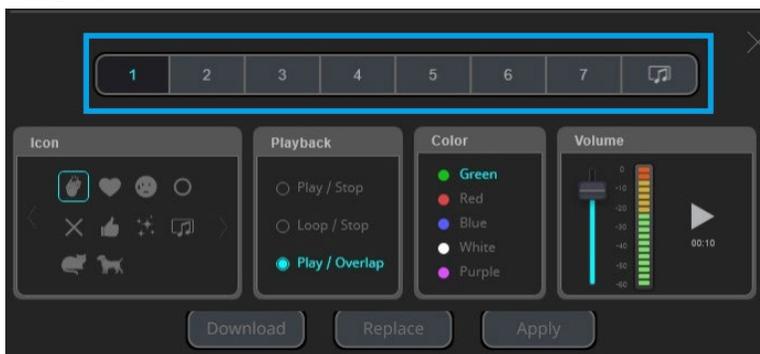
録音済みジングルのダウンロード

ホスト・コンピューターに録音したジングルをダウンロードする場合は、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 接続したホスト・コンピューターで、OnAir™Audioのジングルセクションにあるをクリックしてください。



2. 表示されるジングル設定画面で、ダウンロードするジングルを選択してください。



3. 「ダウンロード」をクリックして、接続されているホスト・コンピューターに音声ファイルとしてジングルを保存してください。



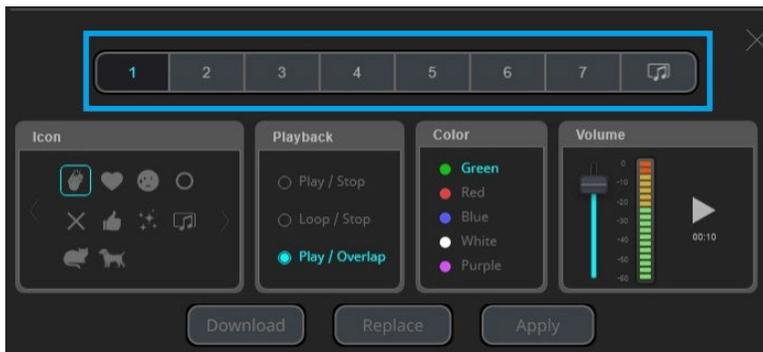
オーディオ・ファイルを使用したジングルの置き換え

OnAir™Audioを使用して、接続されたホスト・コンピューターから既存のジングルを*.wavオーディオ・ファイルに置き換えることができます。

1. ジングルをオーディオ・ファイルに置き換えるには、OnAir™Audioのジングルセクションにあるをクリックしてください。

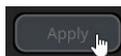


2. 表示されるジングル設定画面で、交換するジングルを選択してください。



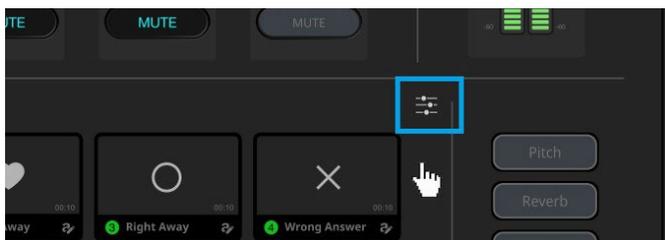
3. 「置き換え」をクリックして、ジングルを置き換えるオーディオ・ファイルを参照して選択します(20 秒より長い場合は、最初の20 秒のみが使用されます)。

4. 「適用」をクリックして設定を保存してください。



ジングルの調整

ジングルを調整するには、接続したホスト・コンピューターのOnAir™Audioを使用して、ソフトウェアのジングルセクションの右上隅にあるをクリックして、ジングル設定画面にアクセスしてください。



以下の設定が表示されます。

調整したいジングルを選択します。

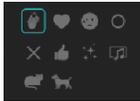
ジングルを表すアイコンを選択します。



ジングルの再生モードを選択します。

ジングルの色を選択します。

ジングルの再生ボリュームのテストと調整を行います。

名称	説明
アイコン 	ジングルを表すアイコンを選択します。
再生 	ジングルの再生方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 再生/停止: ジングルを最初から最後まで再生します。 ◆ ループ/停止: ジングルを無限に繰り返します。もう一度クリックすると繰り返しを停止します。 ◆ 再生/オーバーラップ: ジングルを再生します。もう一度クリックすると、最初から再生されます。
色 	ジングルの色を選択します。

第6章 ボイスFX

MicLIVE™には、マイクを接続して音声録音中に適用できる4つのボイスFX (ボイスチェンジャー) モードがデフォルトで用意されています。

4つのボイスFXモードには以下が含まれます：

ボイスFX	色	説明
ピッチ		声のピッチを上げます。
リバーブ		より「豊か」で「自然」なエフェクトのために、声に残響効果を施します。
男性		女性の声を男性の声に変換します。
女性		男性の声を女性の声に変換します。

注意：

デフォルトでは、ボイスFXはマイク2で接続されたマイクにのみ影響し、マイク1には影響しません。

マイク1で接続されたマイクにボイスFXを適用する場合は、下図のように、接続されたホスト・コンピューターのOnAir™Audioのマイク1の横にある  をクリックし、ボイスFXを有効にしてください。



オーディオ入力設定の調整の詳細については、p.33「オーディオ入力の設定」を参照してください。

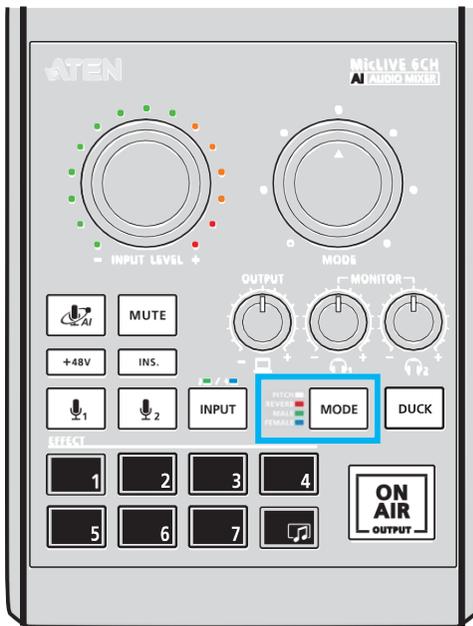
実践編(ボイス FX の適用)

ボイスFXの適用には2つの方法があります。

- ◆ MicLIVE™のミキサーでボイスFXを適用するには、p.27「MicLIVE™経由によるボイスFXの適用」を参照してください。
- ◆ ホスト・コンピューターでOnAir™Audio経由のボイスFXを適用するには、p.29「OnAir™Audio経由によるボイスFXの適用」を参照してください。

MicLIVE™経由によるボイスFXの適用

1. MicLIVE™にボイスFXを適用するには、ミキサーで、**MODE**を1～4回押ししてください。



- ◆ ピッチ: **MODE**を1回押ししてください。白色に点灯します。
- ◆ リバーブ: **MODE**を2回押ししてください。赤色に点灯します。
- ◆ 男性: **MODE**を3回押ししてください。緑色に点灯します。
- ◆ 女性: **MODE**を4回押ししてください。青色に点灯します。

2. 適用したボイスFXモードの強さを調整したい場合は、ミキサーのボイスFX強弱調整コントローラーを回してください。



- ◆ 時計回りに回すと、適用されるボイスFXが強くなります。
- ◆ 反時計回りに回すと、適用されるボイスFXが弱くなります。

注意：

カスタマイズしたボイスFXモードを定義する場合は、p.30「カスタマイズしたボイスFXの定義方法」を参照してください。

OnAir™Audio経路によるボイスFXの適用

1. 接続したホスト・コンピューターにOnAir™Audio経路でボイスFXを適用するには、ソフトウェアの4つのボイスFXアイコンの1つをクリックしてください。



注意:

「カスタム」は、独自のボイスFXモードをカスタマイズした後でのみ使用できます。p.30「カスタマイズしたボイスFXの定義方法」を参照してください。

2. ボイス・エフェクト・モードを選択した後、をクリックし、右の図が示す強弱Tバーをクリック&ドラッグして、強さを調整してください。

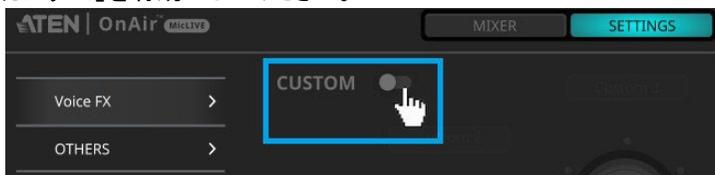


カスタマイズしたボイスFXの定義方法

1. カスタム・ボイスFXを定義するには、接続したホスト・コンピューターの OnAir™ Audioの「設定」タブにアクセスしてください。次に「ボイスFX」を選択してください。

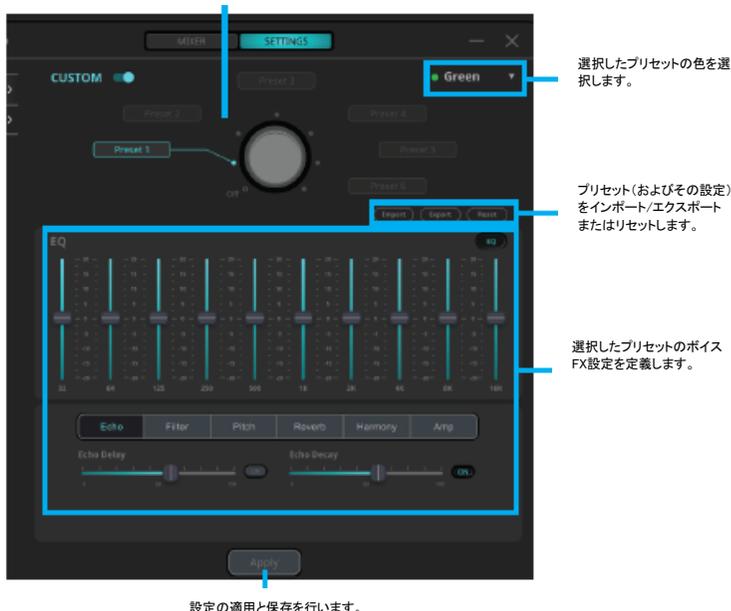


2. 「カスタム」を有効にしてください。



3. そうすると、以下の設定が有効になります。

プリセット1~4を選択します。



4. カラードロップダウンメニューからカスタム・ボイスFX用にミキサーのモードボタンが点灯する色を選択してください。



5. 「プリセット1」を選択してください。選択すると、これが、カスタマイズしたボイスFX設定の保存先となるプリセットになります。



6. EQを有効にし、プリセットで保存するボイスFX設定を定義してください。以下に例を示します。



7. 「適用」をクリックして設定を保存してください。
8. カスタマイズしたボイスFX設定を1セット以上定義する場合は、別のプリセット(プリセット2など)を選択し、手順5～7を繰り返します。

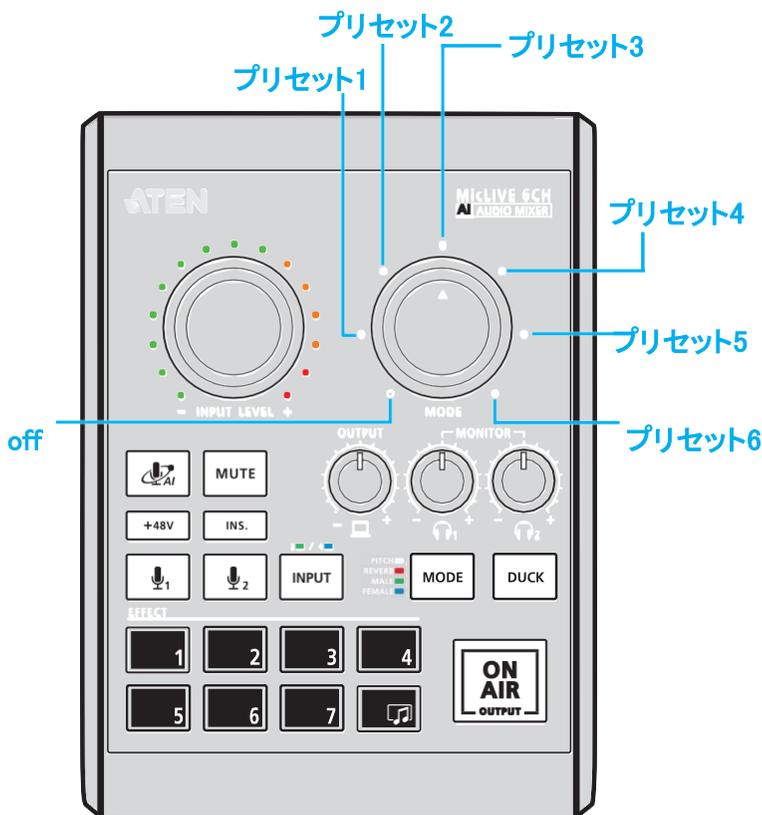
注意:

OnAir™ Audioは、プリセット1～プリセット6の下で、カスタマイズされたボイスFX設定を6セットまで定義し、保存することができます。

カスタム・ボイスFXの使用

カスタム・ボイスFXを定義したら、以下の手順で適用することができます。

1. MicLIVE™ミキサーで5回押すと、設定されている色でカスタム・ボイスFXが点灯します。MODE
2. ミキサーのボイスFX強弱調整コントローラーを回して、使用したいプリセットを選択してください。

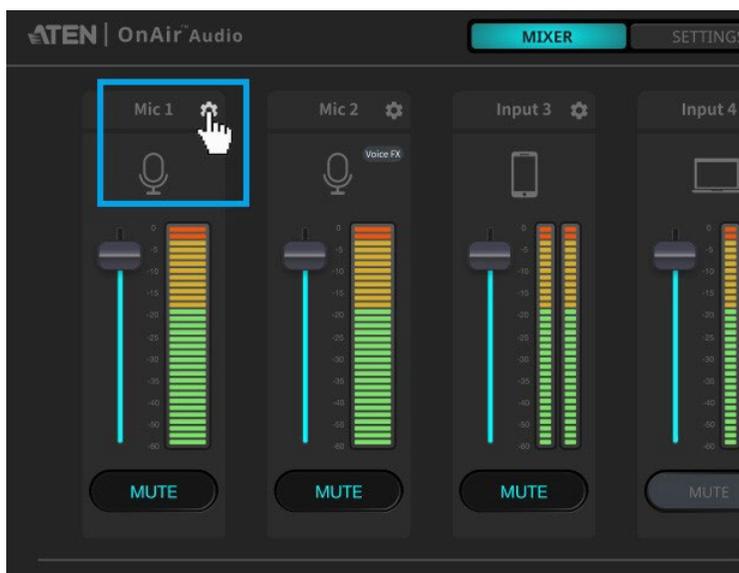


第7章 オーディオの詳細設定

OnAir™Audioを使用すると、メイン/サブ・オーディオごとに詳細設定を調整できます。

オーディオ入力の設定

メイン/サブ・オーディオの詳細設定にアクセスするには、以下に示すように、接続されたホスト・コンピューターのOnAir™Audioで、アクセス対象となるオーディオの横にある  をクリックしてください。



以下の設定が表示されます。



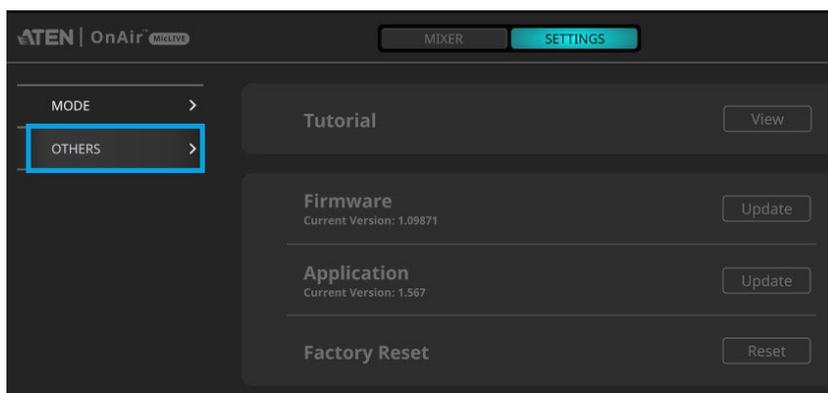
名称	説明
ボイスFX	以下に説明するように、オーディオ入力に対して ボイスFX を有効/無効にします。 <ul style="list-style-type: none">◆ 有効:ボイスFXモードが適用されると、このオーディオに適用されます。◆ 無効:ボイスFXモードが適用されている場合、このオーディオには適用されません。
コンプレッサー	オーディオ入力の コンプレッサー を有効/無効にしたり、関連パラメーターの設定をしたりします。
AI Smart EQ	周波数レベルを 低 、 中 、 高 から選択してください。AI Smart EQはキャリブレーションされるタイミングに最も影響を受けます。

第8章 その他の設定(アップデートを含む)

この章では、ファームウェア/アプリケーションのアップデート、出荷時のデフォルト設定へのリセット、チュートリアルなど、OnAir™Audioが提供するその他の設定について説明します。

設定画面

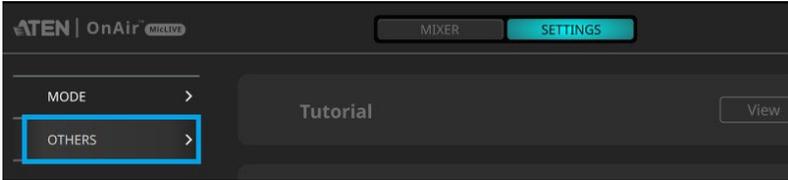
OnAir™Audioの設定画面にアクセスするには、「設定」>「その他」を選択してください。次のページが表示されます。

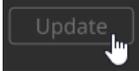


名称	説明
チュートリアル	AIオーディオミキサーMicLIVE™の使用法に関するヒントを提供します： <ul style="list-style-type: none">◆ オーディオ機器の接続方法◆ 次の機能の使い方：<ul style="list-style-type: none">◆ AI Smart EQ◆ ジングル(エフェクト)◆ ボイスFX◆ ダッキング
ファームウェア/アプリケーション	ファームウェア/アプリケーションの現在のバージョンを表示し、最新バージョンに更新できます。
工場出荷時設定へのリセット	本ミキサーを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

ファームウェア/アプリケーションのアップデート

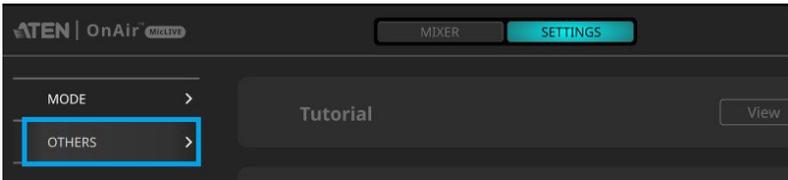
1. MicLIVE™ミキサーのファームウェアまたはOnAir™Audioアプリケーションを更新するには、OnAir™Audioで「設定」>「その他」を選択してください。

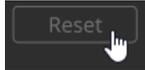


2. 更新する項目、ファームウェア、またはアプリケーションの横にある「更新」をクリックしてください。
3. アップデートファイルを参照するよう求められた場合は、<https://tinyurl.com/nsp6tnfn>のミキサーダウンロードページからダウンロードしてください。<https://tinyurl.com/nsp6tnfn>

工場出荷時におけるデフォルト設定の復元

1. MicLIVE™ミキサーを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには、OnAir™Audioで「設定」>「その他」を選択してください。



2. 「出荷時リセット」の横にある「リセット」をクリックしてください。

安全にお使いいただくために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ また、弊社Webサイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。装置が落下すると、深刻な損傷が生じます。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらの

ケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。危険な電圧ポイントに触れたり、部品が短くなり、火災や電気的な衝撃の危険性があります。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談くださいすべての保守については、適格な保守担当者に問い合わせてください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。他のコントロールの不適切な調整は、修理する資格のある技術者による広範な作業を必要とする損傷をもたらす可能性があります。

仕様

機能		MicLIVE™
オーディオ 入力	XLRコンボ	XLR-3-31(1: GND、2: HOT、3: COLD) × 2 または6.3mm(1/4インチ)標準TRSステレオジャック (T: HOT(L)、R: COLD(R)、R: GND)
	ライン入力	1/8インチ4極TRRSフォン メス(T: HOT(L)、R: COLD(R)、R: GND、S: MICCTIA規格) 経由
	USB オーディオ入力	USB Type-C メス × 1
オーディオ 出力	ライン出力	1/8インチ4極TRRSフォン メス (T: HOT(L)、R: COLD(R)、R: GND、S: MICCTIA規格) 経由
	ヘッドホン (モニタリング)	1/8インチTRSフォン メス × 2(ヘッドセット用)
	USB オーディオ出力	USB Type-C メス × 1
オーディオサンプリング		24ビット/ 96 kHz
接続		USB Type-C メス × 1、USBバスパワー
動作環境		
動作温度		0~40°C
保管温度		-20~60°C
湿度		0~80%RH、結露なきこと
OSサポート		<ul style="list-style-type: none"> ◆ Mac OS10.11以降(64ビットのみ) ◆ Windows10以降(32/64ビット) ◆ Intel i3シリーズ2GHzマルチコアプロセッサ以上 (またはこれと同等のAMDプロセッサ) ◆ 2 GB RAM(8GB 以上を推奨) ◆ USB2.0以上に互換したUSB-Cインターフェース
電源		
消費電力		DC5V:2.55W:12BTU
ケース		
ケース材料		プラスチック
重量		0.42kg(0.93 ポンド)
サイズ(W×D×H)		13.05 × 18.09 × 6.27cm(5.14 × 7.12 × 2.47 インチ)